

新病院に向けた取組について

新病院イメージ図



市立病院事業

福岡市の市立病院事業は、平成22年4月1日から地方独立行政法人福岡市立病院機構（以下、「機構」という。）に業務が移行され、「こども病院・感染症センター」と「福岡市民病院」の診療や経営は、機構が行っています。

新病院の診療や経営についても機構が行っていきます。

新病院の計画概要（新病院基本構想より）

1. 医療機能、施設規模

		新病院	現病院
医療機能		・小児医療（地域・高度） ・小児救急医療 ・周産期医療	・小児医療（地域・高度） ・小児救急医療 ・周産期医療※2 ・感染症※3医療
病床数		260床※1 (233床)	212床 (うち22床は感染症※3病床)
施設	敷地面積	約 35,000 m ²	約 16,900 m ²
	延床面積	約 27,900 m ²	約 16,500 m ²
	駐車台数	450台（患者用300台）	105台（最大168台）

※1 新病院基本構想では、最大260床としているが、現時点では、感染症病床を除く190床に加え、43床の増床が承認されている。

※2 新病院基本構想策定後、平成23年4月に「地域周産期母子医療センター」に認定された。

※3 「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」における1類、2類の指定感染症を対象。（平成24年4月、それまで24床あった感染症病床のうち第2種2床を（国）九州医療センターへ移管した。）

2. 小児医療等の充実

（ ）は233床の場合の病床数

		新病院	現病院
小児医療の充実	PICU（小児集中治療室）	8床	6床
	HCU（重症治療室）	32床（25床）	—
	一般・小児救急・小児感染症病棟	146床	161床
周産期医療の充実	NICU（新生児集中治療室）	12床	9床
	GCU（新生児回復治療室）	26床（24床）	10床
	産科病棟	30床（18床）	4床
	MFICU（母体・胎児集中治療室）	6床（—）	—
施設の充実	手術室	6室	3室
診療科の増設		22科目	18科目

※4 総合診療科、脳神経外科、皮膚科、歯科口腔外科を新設予定。

※5 新病院基本構想策定後、平成22年8月に産科を開設。

事業者からの提案の概要

新病院の整備・運営を行う「福岡市新病院整備等事業」についても機構が承継しています。同事業については、平成23年10月31日に事業契約を締結し、事業者からの提案を基に進めています。提案の概要は、以下のとおりです。

1. 建物の概要

敷地面積	約 35,000 m ² （ファミリーハウス敷地含む）
建築面積	約 9,280 m ²
延べ床面積	約 27,900 m ²
構造形式：	病院棟：鉄筋コンクリート造6階建て（基礎免震構造） 付属棟：鉄筋コンクリート造1階建て（耐震構造） 院内保育所・駐輪場・歩行者通路：鉄骨造（耐震構造）
基礎形式	病院棟・院内保育所：杭基礎 付属棟・駐輪場・歩行者通路：直接基礎

2. 施設のイメージ

※ 下記の図は提案されたイメージ図です。今後の設計協議により、変更になることがあります。



子どもの療養環境に配慮した緑あふれる病院外観イメージ



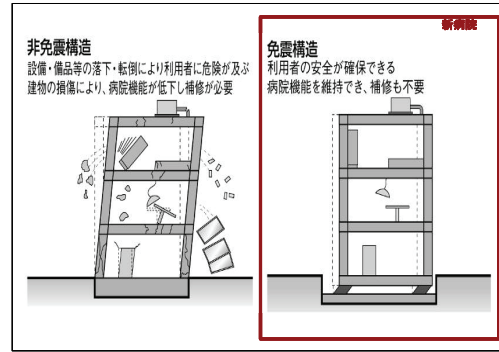
屋上庭園のシンボルツリー

信頼性の高い免震構造

1階床下に免震層を
設けた基礎免震



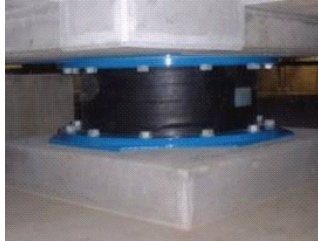
大地震時においても
医療行為の継続が可能



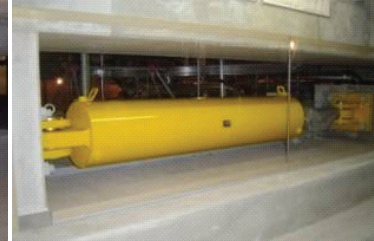
耐震安全性に配慮した免震構造の採用



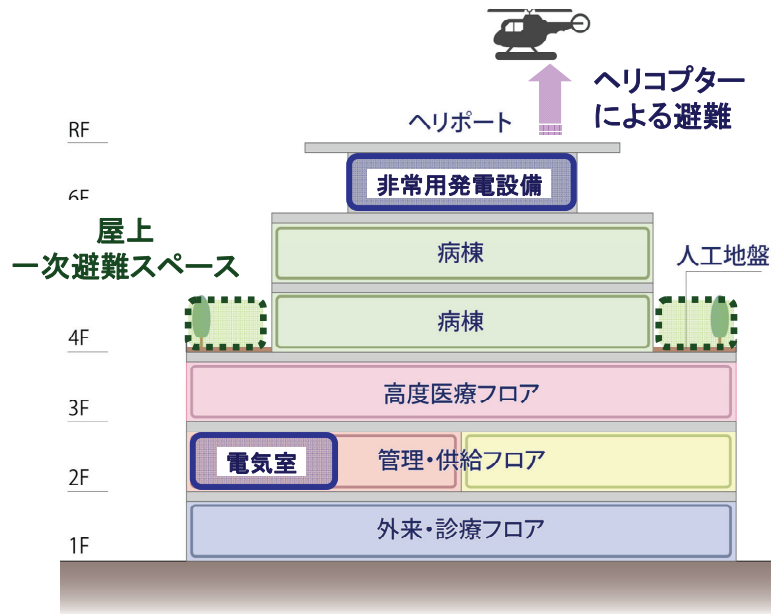
弾性すべり支承実験状況



天然ゴム系積層ゴム
設置状況



オイルダンパー設置状況



防災を考慮した地下を設けない計画
(非常用発電設備、電気室は上層階に設置)



1階センターホールのプレイコーナーのイメージ

（待合室など施設の各所にプレイコーナー、
プレイルームを設置）



子ども達が安心して医療を受けることができる
あたたかさを感じる「いえ」を意識した病室
(4・5階個室)のイメージ

今後のスケジュール

設計・建設・開院準備期間	平成 23 年 10 月 31 日～平成 26 年 10 月末
開院予定日	平成 26 年 11 月 1 日
維持管理期間	平成 26 年 11 月 1 日～平成 41 年 11 月末
引継期間	平成 41 年 12 月 1 日～平成 42 年 11 月末

位置図

